

2020/9/19

(うとQ世話し 幾ばくかの救い)

「とにかく書類が多い」

コロナ禍で大きな打撃を受け、その中での生き残り策の策定や実行で忙しくて仕方がないのに、詩人の立原道造作の「丸の内ビル？」の一節ではありませんが

「出てくるわ、出てくるわ、どんどんどんどん出てくるわ」恭（うやうや）しく整えられた書類提出依頼の数々。

何で我が国は、こんな状況下に於いてすら、官民を問わずこれほどしゃっちょこぼった書類の提出が多いのか？

自分の推測では、恐らく「様式美愛+威厳誇示+慣行という惰性」からではないかと。

それでも日本人の自分はまだ慣れと耐性があるからいいのですが、在日就労外国人にとっては、この「漢字交じりの紙爆弾」による「昼夜を問わない十重二十重の爆撃」には「諦観マスク」装着以外にない様子。

それだけならまだしも、たまにはちょっとした事件になる場合も。

当店の例で言えば、従業員の前勤先での「住民税未納の督促」やら「給与差し押さえ通告」が突如、新規雇用主である自分の元にある日突然舞い込んで来たり。

びっくりして当人や督促元、通告元に慌てて聞いて回ると、2例中2例とも「支払い契約」やら「未納請求」の漢字が読めないために、何が来たのかも拘らず、且つまた相談する日本人もいないためにほったらかしになってしまったままでした。

自分の店では従業員に「来た書類は一切捨てずに自分の処に持って来るよう」指示をしてあるのですが、そうでなかった場合、上記のような事態になってしまう訳です。

当人達にとってみれば「払う意思がない」訳でもなく「逃げている訳でもない」のに、ある日突然「罪人扱い」の文書がやってくる。しかもそれすらも分からないままに、土壇場詰まって事態が分かり、雇い主のこちらも四苦八苦。

日本人の自分ですら内容が複雑すぎて理解に困る程の内容とちょっとした違いで何度も何度も送付されてくる、その数の多さ。

当然彼らには全く分かる筈もない訳で。

だったら「日本語を習ってから来い」

とおっしゃるかもしれませんが、それを故国でできるのはお金持ちだけです。働きに来ているアジア系就労者の大半は貧しいから出稼ぎ、故国送金をしに来日しているのです。

そのような事もあって自分は自らの経験則から、その電話をかけてきた主に

「文書はせめて英語でも出して下さい。英語も分からないアジア系外国人には、漢字交じりの日本語文を全てローマ字表記文で書いて出してやって下さい。

例えば「住民税」なら「juumin-zei」と表記すれば、これは「tax(税)」の話だと直ぐに分かりますから。

彼らは日本語を音で覚えている場合が多いので、発音記号代わりにローマ字文を見れば、漢

字交じり日本語や「文法的に正しい」英語なんかより遥かに分かりますので」

（もし、これが実現できれば、国は税収が増え、在日外国人は不要なリスクから少なからず逃れられ、日本人雇用主は相当量の手間が省ける、の三方両得）

でも、この電話の方はとても理解のある方で

「そういう現実があったんですか。全く想像もしていませんでした。少し検討をしてみます。上にもあげてみます」

それを聞いて自分は、そういう若いお役人さんがまだいらっしゃることに幾ばくかの救いを感じました。

頑張っって欲しいものです。